

自助グループ

本人

薬物依存症者本人のための自助グループ NA(ナルコティクス・アノニマス)

【代表連絡先】

住所 東京都北区赤羽1-51-3-301
電話・FAX 03-3902-8869
受付 火曜日 19:00~20:00 土曜日 13:00~17:00
(FAXは毎日24時間受け付けています)

【熊本グループミーティング】

日時 木曜日 19:00~20:30
会場 カトリック健康教会(熊本市東区健康3-8-37)

家族

薬物依存者をもつ家族のための自助グループ NAR-ANON(ナラノン)

【代表連絡先】

住所 東京都豊島区西池袋2-1-2島幸目白ビル2-C
電話・FAX 03-5951-3571
受付 月~金曜日(祝日は休み)10:00~16:00

【熊本グループミーティング】

日時 土曜日 19:30~21:00
会場 県立こころの医療センター(熊本市南区富合町平原391)

県内の自助グループに関するお問い合わせ
熊本県精神保健福祉センター ☎096-386-1166

専門相談機関

ダルク(DARC)とは

ドラッグ(Drug=薬物)のD、アディクション(Addiction=嗜癖、病的依存)のA、リハビリテーション(Rihabilitation=回復)のR、センター(Center=施設、建物)のCを組み合わせた造語で、覚醒剤、有機溶剤(シンナー等)、市販薬、その他の薬物から解放されるためのプログラムを持つ民間の薬物依存症リハビリ施設です。

【地域活動支援センター熊本ダルク】

住所 熊本市中央区大江2-14-14七條ビル101
電話 096-202-4699
相談 随時(土・日・祝日は休み)
ミーティング 月曜・金曜 19:00~20:30
火曜 17:00~18:00
家族教室 第3日曜日 13:00~15:00



相談機関

一人で悩まず、お近くの保健所・
精神保健福祉センターへ相談しましょう。
ご家族だけでも相談できます。
(プライバシーは厳守します)

こころの悩み相談

- (公社)熊本県精神保健福祉協会 096-285-6688
「熊本こころの電話」
- 社会福祉法人 熊本いのちの電話 096-353-4343
(毎月10日はフリーダイヤル) 0120-783556

心の健康相談

〈熊本市外にお住まいの方〉

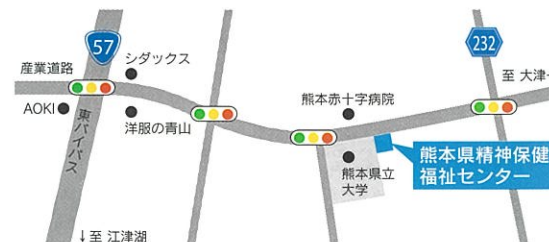
- 熊本県有明保健所(荒尾市・玉名市・玉名郡) 0968-72-2184
- 熊本県山鹿保健所(山鹿市) 0968-44-4121
- 熊本県菊池保健所(菊池市・合志市・菊池郡) 0968-25-4138
- 熊本県阿蘇保健所(阿蘇市・阿蘇郡) 0967-24-9036
- 熊本県御船保健所(上益城郡) 096-282-0016
- 熊本県宇城保健所(宇土市・宇城市・下益城郡) 0964-32-1207
- 熊本県八代保健所(八代市・八代郡) 0965-33-3229
- 熊本県水俣保健所(水俣市・葦北郡) 0966-63-4104
- 熊本県人吉保健所(人吉市・球磨郡) 0966-22-3107
- 熊本県天草保健所(天草市・上天草市・天草郡) 0969-23-0172

〈熊本市内にお住まいの方〉

- 熊本市こころの健康センター 096-362-8100
- 熊本市中央区役所保健子ども課 096-328-2419
- 熊本市東区役所保健子ども課 096-367-9134
- 熊本市西区役所保健子ども課 096-329-1147
- 熊本市南区役所保健子ども課 096-357-4138
- 熊本市北区役所保健子ども課 096-272-1128

熊本県精神保健福祉センター

住所 熊本市東区月出3丁目1-120
電話 ☎096-386-1166
月~金曜日(祝日・年末年始を除く)9:00~16:00
クマーPP 第2・4火曜 13:30~15:00
本人向けの回復支援プログラムです
依存症家族ミーティング 第3金曜 13:30~15:30
ミニ学習やフリートーク等を行います



薬物依存症について

熊本県精神保健福祉センター

薬物をやめたい やめてほしい ひとりで悩まずに相談してみよう。

薬物依存症とは

薬物乱用の結果として生じた脳の慢性的な異常状態で、使用をやめようと思っても、自分自身ではコントロールがきかなくなった状態です。
(一回に1錠飲むように指示された睡眠薬、鎮痛剤などを早く治りたいと考え一度に2錠、3錠も飲む行為も乱用です)
適切に対処することが、回復する近道です。

健康の問題

- からだ・こころへの影響

家族の問題

- 家族の日常生活への影響
- 家族のからだ・こころへの影響

対人関係の問題

- 孤立しやすい
- トラブルを起こしやすい

薬物依存症が生み出す 様々な問題

社会全体の問題

- 犯罪、事故の増加

社会生活上の問題

- 職務能力の低下
- 借金・失業・退学

後遺症

薬物をやめても、ストレス、飲酒などの刺激で精神症状が再発しやすい。
(幻覚・妄想、うつ、フラッシュバック等)

家族の方へ

あなたのまわりにこんなことは起きていませんか？

薬物依存の時にみられる状況

- 薬物を使うために嘘をついた



- 薬物について尋ねると不機嫌になった



- 薬物が原因で仕事が続かなくなった



- 本人が作った借金の督促がきた



- 薬物が原因で身体的問題が起きてきた
- 感情の起伏が激しく、人が変わったようになった
- 意味不明な話をしたり不自然な行動が目立つ
- 突然、大声を出したり暴れたりした



本人は自暴自棄になることがあります。
気持ちが滅入って、失踪したり、
死にたい気持ちになることがあります。

乱用されている薬物

覚せい剤	シャブ、スピード、アイス、エス 平成9年から第3次覚せい剤乱用期が継続中 我が国の薬物問題の中心
大麻	マリファナ、ハッパ、チョコ 大麻草、乾燥大麻。若者中心に乱用者拡大
M D M A	エクスタシー、X、バツ 興奮・幻覚作用を併せ持つ合成麻薬
危険ドラッグ	ハーブ、お香、アロマと称して販売 強い急性の精神・身体毒性を持つ
麻薬	コカイン、ヘロイン
市販薬	咳止め薬(シロップ錠剤)、鎮痛剤
処方薬	睡眠薬、鎮痛薬、精神安定剤
シンナー	アンバン・トロ 有機溶剤、他にトルエン・ボンド等
ブタンガス	カセットコンロのボンベ、ライター

※アルコールもたばこも依存性のある薬物の一つです。

薬物依存症からの回復のためには？

本人

- 専門医療機関への通院
- 薬物リハビリ施設(ダルク)*の利用
- 自助グループや回復プログラムへの参加

家族

- 自助グループや家族教室に参加
本人への適切な対処方法を学びましょう。
家族自身のこころとからだの健康を取り戻しましょう。

※裏面に説明

まずは相談しましょう

いろいろな問題が起きているのにやめられないのは依存症です。しかし、
薬物依存症からは回復することができます。